

1 13:30~14:10 (40分) 復習~BORDER

互換モード確認

欠席者対策

section>diary.css

□2.html作成(10分)

kozoに

文書型宣言

<style>

設置し、kozoのまま保存(10分)

diary/2.htmlで別名保存

```
1 <!doctype html>
2 <html>↓
3 |   ↓
```

□ページ内にCSS(20分)

bluegreenからグラデの背景画像を探す(10分)>img/2bg.jpg

背景画像を指定(10分)

<style>で括り

background-image

repeat-x

□外部CSS(20分)

リンクタグでdiary.cssへリンク(5分)

ページ内に<div class=box>で箱を(5分)

その中に<h1>(5分)

.boxに指定(5分)

width:750px;

background-color:white;

border:solid 1px;

margin:auto

```
.box{↓
width:750px;↓
background-color:white;↓
border:solid 1px;↓
}↓
[font]
```

2 14:20~15:00 (40分) ボックスへの背景画像の設置

□ h1背景(25分)>サンプル見せる

Fireworksで新規150X50(5分)

ぱくたそ等で画像を探しトリミング(10分)

最適化パネルでjpeg(5分)

書き出し>img/1.jpg

2.htmlで(10分)

<style>内にセレクトh1

height:150px>高さが取られる(5分)

background-image:url(..img/1.jpg)(5分)

margin:0>非互換モード

! paddingで調整すると溢れる

box-sizing>効かず

足した分を引く>時間あれば

```
h1 {  
height: 150px;  
background-image: url(..img/2.jpg);  
text-align: right;  
margin: 0;  
}
```

サーバーと同じにするにはチェック外す

インターネットサイトを互換表示で表示する(I)

Microsoft 互換性リストの使用(U)

[Internet Explorer のプライバシーに関する声明を読んで詳細を確認する](#)

閉じる(C)

float.htmlとimg.gifをcssへコピー(5分)

□ トップ更新履歴(10分)

リンク先float.html

3 15:10~15:50 (40分) フロートによる回りこみ

h1下にmainを作成し、その中に今日の見出し(15分)

float.htmlへリンク

.mainに背景色指定(5分)

```
<div class="box">↓
<h1>2月の授業日記</h1>↓
<div class="main">↓
<h2>1/23 フロート</h2>↓
</div>↓
</div>↓
```

float(15分)

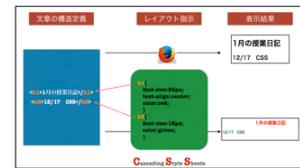
画像の回り込み

セクタをimg

float:left(5分)

float:right(5分)

htmlは文章の構造定義を目的に策定され、その解釈(レイアウト表現)はブラウザに任せていました。しかしwebの普及に伴い、文章とは別に見栄えの調整を行いたい要求がそれに対しブラウザベンダーが独自に文章と離れたタグを策定するなど、タグが本来の意味を外れ乱発されてしまった時期がありました。



そこで、HTMLの構造定義と独立して見栄えを定義するために新たに策定されたのがスタイルシート(CSS)です。CSSではブラウザが持っているタグに対するデフォルトの表示効果(スタイルシート)を書き換えられる。既存のタグで指定できないような様々な部分に対しても独自のスタイルで指定できるようになっています。

htmlは文章の構造定義を目的に策定され、その解釈(レイアウト表現)はブラウザに任せられていました。しかしwebの普及に伴い、文章とは別に見栄えの調整を行いたい要求が多く、それに対しブラウザベンダーが独自に文章と離れたタグを策定するなど、タグが本来の意味を外れ乱発されてしまった時期がありました。



HTMLとスタイルシートは表記法が異なるので、HTMLの中にもうまくけ込ませる必要があります。CSSをどこに記述するかでその指定が適応される範囲が変わってきます。方法には右記の3つがありそれぞれに適応される範囲も異なります。

clear(5分)

htmlは文章の構造定義を目的に策定され、その解釈(レイアウト表現)はブラウザに任せられています。

そこで、HTMLの構造定義と独立して見栄えを定義するために新たに策定されたのがスタイルシート(CSS)です。

HTMLとスタイルシートは表記法が異なるので、HTMLの中にもうまくけ込ませる必要があります。

class=secondで解除する(1段落に入れる)

溢れない

終わらせる程度

section作成しまとめる(10分)

```
<h2>1/23 フロート</h2>↓
<div class="section">↓
<h2>フロート</h2>↓
対象を浮き上げらせ後継要素を回り込ませる↓
<h4>float:left/right</h4>↓
<h3>フロートの解除(clear)</h3>↓
フロートを終わらせる指示↓
<h4>clear:both</h4>↓
</div>↓
↓
</div>↓
</body>↓
```


□ トップページリニューアル

kozoに文書型宣言設置し、kozoのまま保存(10分)

index2.htmlで保存

```
1 <!doctype html>
2 <html>↓
3 < / >
```

□ コンテナ作成

div class=boxで作成

width:750px,height:150pxでセンタリングさせる

擬似クラス

□ 1.htmlにまとめながら(20分)

h2とarticle作成(5分)

h3で擬似クラス

a:background-color:bleck等

a:link(ダミーリンク貼り)(5分)

a:visitedコピーして1へリンク(5分)

a:hoverコピーして1へリンク(5分)

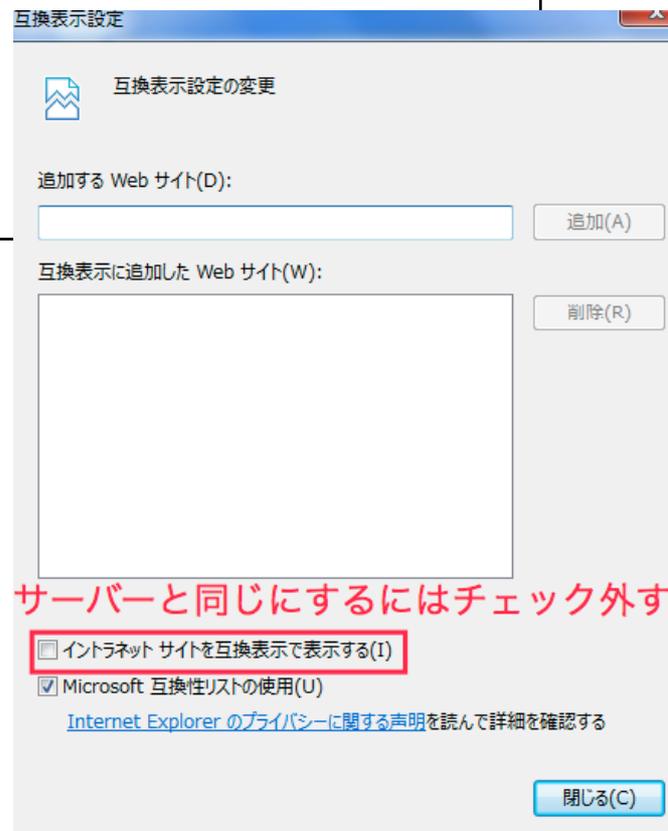
ブロックレベル化(15分)

まとめる(10分)

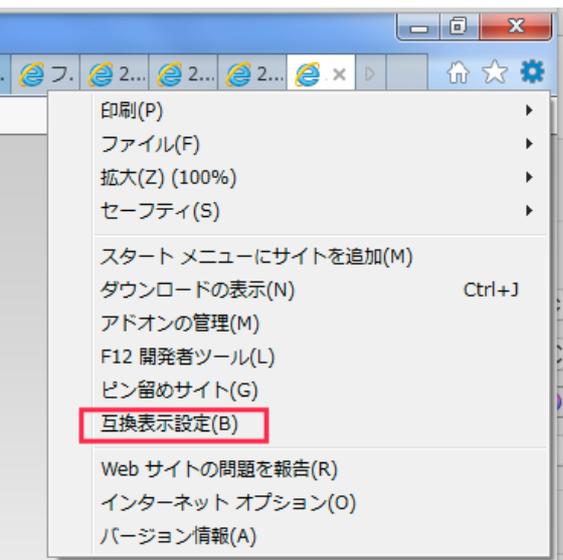
display:block(5分)

width:200px;

ここでやるとリンクボタンもブロックかされる



フロートを利用したナビゲーション



サーバーと同じにするにはチェック外す